

マイナカードの電子証明

期限切れ3度も役所

病院業界中の男性（70代）＝東京都在住＝のマイナンバーカードに内蔵されている電子証明書の期限（5年）が切れたので、家族が代理で更新手続きをするべく役所に3回も足を運ばなければならなかった。「負担が大きくておかしいのでは」と家族が編集局に声を寄せました。どう思つか、専門家を囲みました。

始まりは、男性のスマートフォンの解約のため家族を訪れたこと。マイナンバーカードに何か問題がある、役所に行つたは」といわれました。

「カードの券面を見せて解約は完了」といふが古風から「男性のマイナンバーカードに何か問題がある、役所に行つたは」といわれました。

やりすぎな確認

役所に行くと、カード

の電子証明書の有効期限が2年前に切れていたことが判明。窓口で役の職員は、「国が決まりで最低3回、代理人が更新手続きをする場合、」と代理手続を大変



マイナンバーカードの裏面（上）と裏面（下）の見本。カード裏面にある電子証明書（e-IDチップ）の有効期限は発行から10回目の誕生日までで、更新する仕組みです。カードの有効期限は10回目の誕生日まで。

名した委任状を届けまし

た。といひながら、郵送で届いた必要書類に記入して持参し、手続きを終えました。家族は「3回も足を運ばせるなんてひどいし、あればなんとかしたい」と話します。黒田さんは「3回で済むといふと黒田さんも困ります。しかし、すでに疑問を呈します。「解約に必ず携帯ショップの対応に必要な本人確認はカードの券面表示で済んでいる。にわかわらず電子証明書の有効・無効を調べたのなら、明らかにやりすぎ。政府が携帯電話会社に確認するよう指導しているのではないか」

電子証明書については、「役所への申請などをインターネットで行う人には必ず要だ。しかし、しない人にどうして必要なく、期限が切れてもひどい支障を感じる」ともなりだつ」といいます。

困難な人などの場合、代理人による更新手続きは今回事例のように大変だ」という事例のようだ。黒田さん。マイナボーナスを付与するキャンペーンで、カードの発行が急速に増えた2021～22年から5年後の28～29年には電子証明書の期限切れで更新手続きが必要な人は、桁違いの数に上ります。

黒田充代表「いままでは病院や役所の窓口の混亂は必至。電子証明書を無理やり使わせる健康保険証の廃止は間違っている」と指摘しま